

| | | | | |
|---|---|--|-----------------|--------|
| 縁 | 世田谷区立砧中学校 校長室だより 令和4年10月24日 第 39 号 校長 大坂 崇 | 教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実に回り深く考える姿勢を育てる | | |
| | | 社会性の学び | 知的な学び | 心と体の学び |
| | | 自他の尊重 地域貢献 | 主体的な学び 学習の定着 | 心身の健康 |

10年後という視点④

東京都教育委員 東京大学大学院教育学研究科 北村友人教授の話から

1 「独立心や充実感の育成」

- ① 日本の教育が世界に誇れる点
 - ◎ 学力の高さ
 - ◎ 協調性・集団生活を大切にする
 - ◎ 勉強する姿勢を早くから身につける
- ② 今後、健全な成長を促す上で必須の要素
 - ◎ 子供の生活への満足度の向上
 - ◎ 社会スキルやチャレンジ精神の旺盛
- ③ そのために・・・
「独立心や充実感の育成」を重視した教育観への移行を・・・

2 国連児童基金（ユニセフ）

『Report Card 16（レポートカード16）ー子どもたちに影響する世界：先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か』（2020年9月3日）

- ① 日本の子供の「身体的健康」（子供の死亡率、肥満の子供の割合等）は先進38か国中1位
- ② 日本の子供の「精神的幸福度」（生活満足度が高い子供の割合、自殺率等）は37位
- ③ ウェルビーイングの観点から課題が大きい

3 これからの学び

「学習：秘められた宝」（ユネスコ・Futures of Learning 21世紀教育国際委員会報告、1996年）

- ◎ 知ることを学ぶ（Learning to know）
- ◎ 為すことを学ぶ（Learning to do）
- ◎ 共に生きることを学ぶ（Learning to live together）
- ◎ 人間として生きることを学ぶ（Learning to be）



これら4つに加えて

- ◎ 自分自身と社会を変容することを学ぶ（Learning to Transform Oneself and Society）
- ⇒「静態的（static）な学び」から「動態的（dynamic）な学び」へ



日本の中学生に「幸福を感じる人間関係」と「学ぶ主体性」を育てること

*これからの10年間の課題でしょう